

日銀は政策金利を0.75%に据え置き

【図1】1月展望レポートは、2026年度の成長率と
インフレ率（除く生鮮）を上方修正日銀 経済・物価情勢の展望
における見通し（中央値）比較

〈上段：2026年1月、下段：2025年10月〉

単位(%)	2025年度	2026年度	2027年度
実質GDP 成長率	+0.9	+1.0	+0.8
	+0.7	+0.7	+1.0
インフレ率 (除く生鮮食品)	+2.7	+1.9	+2.0
	+2.7	+1.8	+2.0
インフレ率 (除く生鮮食品・ エネルギー)	+3.0	+2.2	+2.1
	+2.8	+2.0	+2.0

注) 日銀政策委員見通しの中央値。

■は上方修正 ■は下方修正（前回2025年10月見通しとの比較）。
実質GDP成長率とインフレ率（消費者物価）は前年比ベース。

出所) 日本銀行より三菱UFJアセットマネジメント作成

【図2】円買い介入への警戒で円安圧力はやや後退、
一方、長期金利上昇は歯止めかからず

日本10年国債利回りと米ドル円相場



注) 直近値は2026年1月22日。

出所) Bloombergより三菱UFJアセットマネジメント作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント ストラテジック・リサーチ部リサーチグループの見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

Mitsubishi UFJ Asset Management